

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 027	提案機関名 農業技術センター 横浜川崎地区事務所
<b>要望問題名</b> 低温時のニチニチソウの葉の黄化の原因の解明と対策について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 横浜市内では春～初夏の花だん苗物として、ニチニチソウが多く作られているが、5月～6月に出荷するもので下葉が黄色くなる現象が見られる。低温が一番の原因であると思われるが、症状からマグネシウム欠乏も疑われる。燃油高騰のため、気温を上げるのも限界があるため、原因の解明と、その対策について検討して欲しい。 栽培農家数、横浜市・川崎市で 約60戸。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	生産技術部果樹花き研究課
<b>対応区分</b>	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 直売等に適した花き・鑑賞樹の安定生産技術の開発		
<b>対応の内容等</b>	同時期（低温期育苗）の出荷に合わせた作型を再現して、用土、施肥の側面から原因を探る試験を検討したいと考えています。現地の情報等をいただきながら、調整して進めて参りたいと考えていますので、今後ともご協力をお願いします。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
<b>備考</b>			